

8月21日(金)「ひきこもり・8050問題を考える」セミナー

アンケート結果

参加者 130名 アンケート回答者 71名

1 どちらからご参加いただきましたか？

丹波市	39	丹波篠山市	13	西脇市	4
多可町	2	神戸市	2	加古川市	4
小野市	2	姫路市	1	亀岡市	1
綾部市	1	その他	1	大阪市	1

2 差し支えなければ、ご年齢をお願いします。

10代	1	20代	3	30代	8
40代	17	50代	18	60代	17
70代	7	80代	0	90以上	0

3 差し支えなければ、お立場をお願いします。(複数回答有)

当事者・経験者	6	当事者・ご家族(親戚)	15
行政	12	若者支援者	4
高齢者支援者	15	障がい者支援者	9
生活困窮等支援者	15	市議会議員	5
社協	1	関心があつて	1
その他	2	無回答	2

4 このセミナーを何で知りましたか？

ちらし	30	インターネット	6	新聞記事	10
紹介	8	紹介(大槻)	5	紹介(結)	4
紹介(家族)	1	紹介(議員)	1	紹介(井上一休氏)	2
紹介(同僚)	1	紹介(行政機関)	1		
その他	1	その他(案内状)	1		

5 セミナーに参加しての感想をお願いします。

- ・ とても素晴らしい講演でした。ひきこもりの方に就労支援することが最良としていましたが、そうではないことに気付かされました。当事者に寄り添い、家族支援していきたいと思えます。(40代/高齢者支援者)
- ・ 当事者ご本人の気持ちを聞かず、周囲が勝手に決めてしまうことがあり過ぎる時代だと思う。周囲に心の余裕があればより穏やかに本人に関わることやコロナの時代で働き方も変わってくることなど、どんどん考え方をアップデートしていく必要があると感じました。(30代/高齢者支援者)
- ・ まず手を挙げて相談を始めたいと思いました。(70代)
- ・ ひきこもりの人生への向き合い方について、かなり意識が変わりました。仕事柄なのか、結果を出すという支援に傾いてなかったか、反省と振り返りができたと思えます。寄り添う・味方であることが大切であることを改めて感じました。ひきこもりに至るまでの経緯も様々で、簡単ではないことも理解でき、本人は勿論、家族支援もかなり重要であるとわかりました。貴重なお話ありがとうございました。(50代/高齢者支援者)
- ・ 「認める」「寄り添う」ことの難しさを感じます。8050問題は老人の支援者として、実際に会うことです。よい機会を得ました。ありがとうございます。(50代/高齢者支援者)
- ・ 知らなかった事等あり、よい勉強になった。(60代/高齢者支援者)
- ・ 当事者の気持ちを理解することが出来た。家族としても希望を持つことが出来た。(50代/当事者・ご家族)
- ・ 理解できた。(70代/障がい者支援者)
- ・ 精神障がい者の親の会と共通点が多くあります。家族が元気になる→当事者が元気に繋がると思えます(60代/当事者・ご家族)
- ・ 改めて、本人に対しての接し方や親の考え方を考えさせられた。心が軽くなりました。(50代/当事者・ご家族)
- ・ 丹波市の方でもプラットフォーム支援の国の方針の中でできることがあると思っています。少しでも「ひきこもり」の方が暮らしやすい地域をつくれたら・・と思っています。(50代/市議会議員)
- ・ 2部は当事者を取り巻く社会や親に対して何が出来るか・・トーク対象にしてほしかった。8050問題から外れている様に思いました。(60代/当事者・ご家族)
- ・ 当事者の方で意見を聞かせていただきありがとうございました。遊び村へも行って体験してみたいです。今後の課題についても考えていきたいです。(60代/当事者・ご家族)
- ・ 就労でもなく社会参加でもなく何を目標しているのか判らなかった。何かを目指すということ自体「暴力的」なのか？親が死んだら社会や行政が代わりになるのか。社会に出る出来ないは別に社会的生活を営むスキルが必要。(60代/障がい者支援者)
- ・ 選択肢のある学校・社会がもっと広がるといいなと思いました。居場所とは第3の場所(家・学校以外)という感じですね。(50代/当事者・ご家族)
- ・ とても貴重なお話を聞かせて頂きました。様々な状況に置かれている人たちや地域で住みやすくその人らしい生活が出来るような街になればいいなと思いました。(30代/社協)
- ・ 8050・居場所の話とてもよかったです。(60代/当事者・ご家族)
- ・ 先生のお話を聞いて、謎に思っていたひきこもり支援・状況がよくわかりました。会場と対話形式もよかったです。ヒントも答えもたくさんありました。ありがとうございました。今日、よくぞ企画にしてくださいました！(40代/生活困窮者支援者)

- ・ 支援の方向性について悩んでおりましたが、ズレていない事も確認出来て、少しすっきりしました。良いセミナーをありがとうございました。(40代/障がい者支援者)
- ・ 自立(律)支援といいますが、ひきこもり問題に“自立(律)”を望むことは一種の凶器になると感じました。しかし、自立(律)の考え方一つだと思います。結果に重きに置くのではなくて、道筋に重きを置くことで自立(律)が先走ることがないのではと感じました。(20代/行政機関)
- ・ 居場所の大切さ、いろいろな意味があることが分かりました。毎日されてることは大変ですが、とても勇気づけられ元気づけられました。ありがとうございました。(40代/障がい者支援者)
- ・ 安全基地と秘密基地の2本柱で人は元気になっていけるのだと学びました。様々な意見、実際の事件のルポなど貴重なお話を聞けて良かったです。(30代/当事者・経験者)
- ・ 身近な問題でいろいろ考えさせられました。(40代/高齢者支援者)
- ・ 当事者への接し方についての理解が出来ました。(70代/当事者・ご家族)
- ・ 40~50代のひきこもりの方の具体的な支援策、実例等も教えてほしかった。(40代/行政機関)
- ・ 本日は貴重な機会を与えて頂きありがとうございました。(50代/行政機関)
- ・ 恥ずかしい・できればひきこもりを隠したい！この思いばかり強く、本人の気持ちを考えているつもりが全く逆でした。反省です。頑張っていることを褒めてやります。(60代/当事者・ご家族)
- ・ 参加出来てよかった。(70代/当事者・ご家族)
- ・ 池上先生の説明が分かりやすかった。家族支援の必要性を感じた。また、井上さんが実践しておられる若者への支援もやりとりをされていてとても暖かい気持ちになりました。子供たちの気を許しているところを見て存在を認める事が大事であることが分かった。(40代/行政機関)
- ・ 引きこもり状態にある方がみな違っているのはその通りだが、実際に支援する側(民生委員や市町村職員)が想像(選択)出来るような支援等や心の在り方のパターンを示すことが必要と感じました。(40代/行政機関)
- ・ 安心してひきこまれることの大切さを痛感しました。居場所をバックアップできる経済的な体制整備が必要であると痛感しました。(50代/行政機関)
- ・ 当事者の気持ち、支援者への心構え、家族への支援。参考になりました。(50代/行政機関)
- ・ ひきこもりの方がどんなきっかけで、どんな気持ちでおられるのか知ることができ、大変参考になりました。(50代/行政機関)
- ・ 何度もこういう講演会に参加していますが、やっぱり子供のことを認めてゆく事が大事なのだと思います。遊び村のゆったりとした自由な感じがとても良いなと思いました。(40代/当事者・ご家族)
- ・ とても有意義な時間だった。(10代/当事者・経験者)
- ・ 相手との接し方や支援のアプローチという点で見本にすべきだと思う概念をたくさん聞くことができました。(30代/障がい者支援者)
- ・ 本人たちにとって、どういう居場所が必要か分かり良かった。(50代/高齢者支援者)
- ・ 当事者ですが、まだ6030なのでじっくりと取り組んでいるところです。まずは最終を考えて親なき後の生きぬく環境を作りつつあります。今の取り組みとしてひきこもり専門のFPさんと相談しながら経済的不幸は回避できるようにしたいと思っています。(60代/当事者・ご家族)
- ・ 学校や職場で本人が苦しむより、得意分野で家族や家庭のみではありますが貢献してもらっています。今回の講演で再確認することが出来たので方針に間違いはないと考えました。(60代/当事者・経験者)
- ・ 現実的な話が中心で、とても考えさせられました。(50代/若者等支援者)

- ・ ありがとうございます。(30代/高齢者支援者)
- ・ 池上さんのお話がリアリティーがすごくあり、社会で起きている問題が分かりました。
(20代/当事者・経験者)
- ・ ひきこもっている本人も苦しんでいる。安心できる居場所づくりが大切であり、出来ないことに目を向けることは逆効果であるとわかった。(50代/高齢者支援者)
- ・ コロナの時代、また生き方を変化させていいのだということ気付くと自立や就労にこだわらなくてよい。居場所は場所ではなく、必要とされている所に自分ができる得意なお手伝いをしてもらいに
行く事も居場所かなと思った。(50代/障がい者支援者)
- ・ 社会参加、自立がゴールでないとするなら、支えられる側でずーっと過ごすことが良いことですか？
支える側にも限界がきますが・・・(30代/その他)
- ・ 誰もが作り上げたルールに乗せていく働きかけが当事者をいかに苦しい立場に追い込んでいるの
か気付くことができました。当事者家族に寄り添える自分でありたいと思います。
(60代/障がい者支援者)
- ・ 「居場所」についていろんな方の考え方があると学びました。ひきこもりの人は果たしてそこが安心
できる場所であるのか、今一度考えてみたいと思いました。(40代/生活困窮等支援者)
- ・ 支援の在り方等、今後の取り組みに大変参考になりました。(60代/市議会)
- ・ こちらの目標として、自立・就労をあげることが多かったと反省しています。(50代/行政機関)
- ・ 8050問題では、色々ないじめ、虐待など様々な問題が隠れていることが分かって、とても有意義な
セミナーでした。(20代/行政機関)
- ・ 自立・就労と考えてしまいがちだが、本人の意思を大切にしながら情報を届けていくことが大切。
(50代/行政機関)
- ・ 体験談を聞いたことはとても重要。(40代/高齢者支援者)
- ・ 今までの自分の対応を反省しました。何となく、何かしなければと勝手に焦っている自分がいました。
外に出られるように、家族以外の人と出会えるように、生活費を得るように＝「就労」のように錯覚して
いました。(40代/生活困窮等支援者)
- ・ 本人支援を行う上で、支援案を提案する人の枠にはめないこと。本人の困りごとをしっかりと聞き取り
肯定すること。まず家族の支援というところが勉強になりました。(30代/生活困窮等支援者)
- ・ 今までひきこもり状態の人を外に出ることが就職できることがゴールだと思っていたが、「助けてもら
うのではなく、当事者が助ける立場になる」居場所が「秘密基地」になる。という言葉が心に沁みた。
今までにない形での第2部に当事者主導型もいいなあと思った。
(60代/その他(ひきこもり問題に関心がある))
- ・ 自死ではなく生き続けるための選択肢であること。これは重い！親から最も言われたくない言葉
「いつまでこんなことやっているんだ」「働け」は凶器になるということは充分にわかる。
「うちの息子はニートだけれどひきこもりじゃない」という友人に何と言えれば良いのかと悩んでいたが、
その家庭は幸福な家族なので、今のままでよいということなのだ分かった。半面、いつ働く気にな
るのかと不安もある。(60代/その他)
- ・ トークセッションでは、当事者の生の声が聴けたことはよかった。(60代/その他)
- ・ 自分の業務で大切にしていることと、先生のお話が重なる部分が多く、パターン化した支援・
暴力的な自立支援になっていないかを振り返ることが出来ました。居場所というのは生きる力を

チャージできることが大切だと思いました。(30代/当事者・経験者)

- ・ 具体的なひきこもりの様子を知ることが出来ました。苦登校を減らせるようにしたいです。

(50代/行政機関)

- ・ 内面的に寄り添える優しい人・受け皿が大事。必ずしも外に出なくてもいいという認識が広がる社会になってほしい。しんどい時はしんどいと言える場所は安全な居場所だなと思う。

(60代/当事者・ご家族)

6 今後、「不登校・ひきこもり・生きづらさを抱えた方等」のセミナーで聴いてみたい内容・講師等ありましたらご記入下さい。

齋藤環さん

高垣忠一郎さん

井上一休さん

ぼそつと池井多さん

(ひきこもり)生活保護を受け、苦しい生活の中、いろいろな問題についての意見と発信をしている。

平野立樹さん

- ・ トークセッションのような形式でもっと聞きたい。
- ・ 家族への支援の重要性を話されていたと思います。家族支援の考え方について教えてください。
- ・ いじめ問題について。いじめる側へのアプローチについてのお話などがあれば面白いと思う。
- ・ ひきこもることをいろんな意味で認めない・認めたくないと思っている人とのコミュニケーションについて
- ・ 当事者の方の気持ちを聞きたいです。「どのようにして社会に出られるようになったのか」
- ・ 介入のきっかけや方法についての支援者側の話を聞いてみたい。
- ・ フリースクールの現状と今後の在り方等
- ・ それぞれの経験(うまくいったこと・そうでなかった)を聞いてみたい。
- ・ 親亡き後の障がい者の地域生活・GH施設を含まない生活支援方法を考える。
- ・ 「市町村プラットホーム」という言葉を初めて聞いた。内容等について聞いてみたい。